2026年11月13日

各　位

会　　社　　名　　株式会社ディ・アイ・システム
代　表　者　名　　代表取締役社長　富田　健太郎
（コード番号：4421　東証スタンダード）
問い合わせ先　　常 務 取 締 役　　大 塚　　豊
（ＴＥＬ．０３－６８２６－７７７２）

中期経営計画（2027年９月期～2030年９月期）策定に関するお知らせ

当社は、持続的な成長及び企業価値向上のために、2027年９月期から2030年９月期までの４カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、本中期経営計画の目標達成に総力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

※本資料には、当社の将来における売上高・利益等の業績に関わる計画や見通しが含まれております。これらは、当社が現時点で把握、入手可能な情報からの判断及び想定に基づく見通しを前提としており、実際の業績等は大きく異なる場合があることを予めご了承ください。

以　上

D.I.System

中期経営計画

2027年9月期 - 2030年9月期



株式会社ディ・アイ・システム

東証スタンダード ｜ 証券コード：4421

2026年11月13日

Index

目次

1 前中期経営計画の振り返り

- 前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の振り返り

2 新中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）

- 新中期経営計画の位置づけ
- 中期経営計画基本方針
- 経営数値目標
- AI推進戦略
- 人材戦略
- 事業戦略　システムインテグレーション事業
- 事業戦略　教育サービス・セキュリティソリューション事業
- 投資戦略
- 株主還元方針
- サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）及び環境への取り組み

3 Appendix

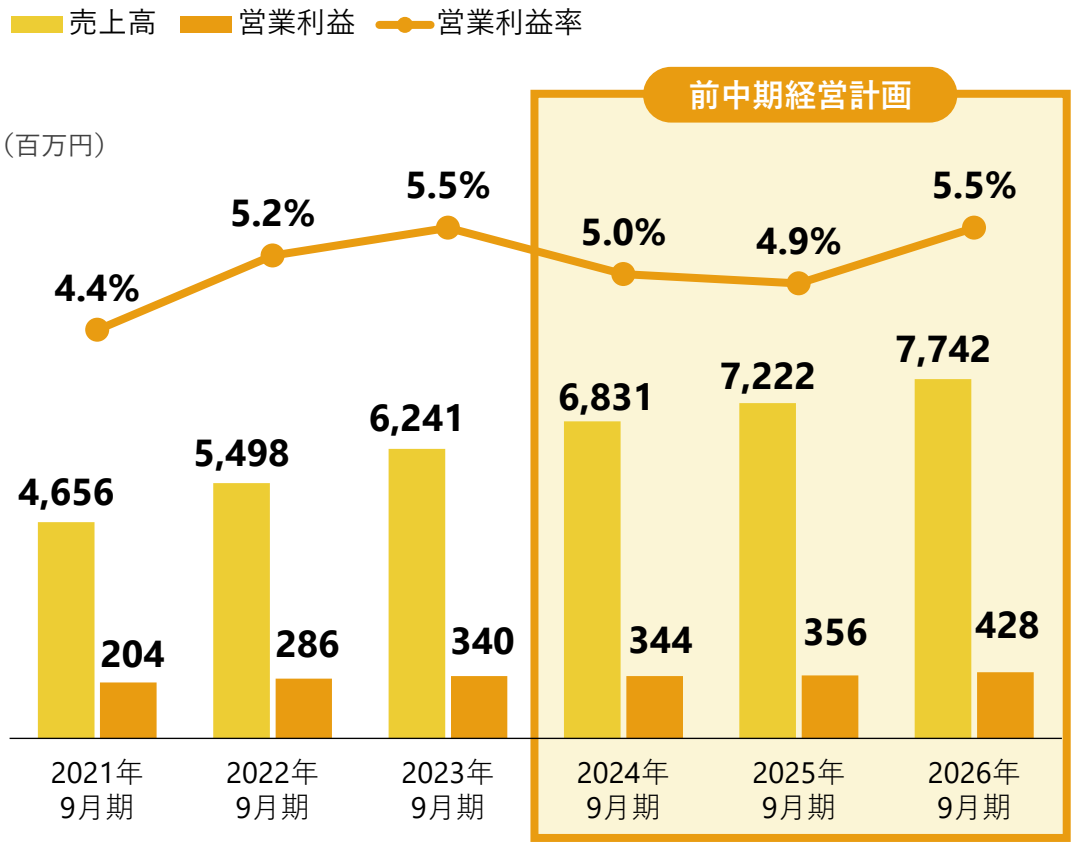
1 前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の振り返り（数値実績）

- 売上高は着実に拡大し、77億円規模へと成長。前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の3カ年は、将来の非連続な成長を見据えた先行投資を最優先とし、社員の待遇改善、本社移転、自社サービス・製品開発、機動的なM&A等を積極的に実行。これら戦略投資の推進に伴い、営業利益率は5.5%での着地

経営指標の推移

（百万円）	2026年9月期 計画	2026年9月期 実績	計画比
売上高	7,952	7,742	△2.6%
営業利益	381	428	+12.3%
営業利益率	4.8%	5.5%	+0.7pt
ROE	—	15.1%	—

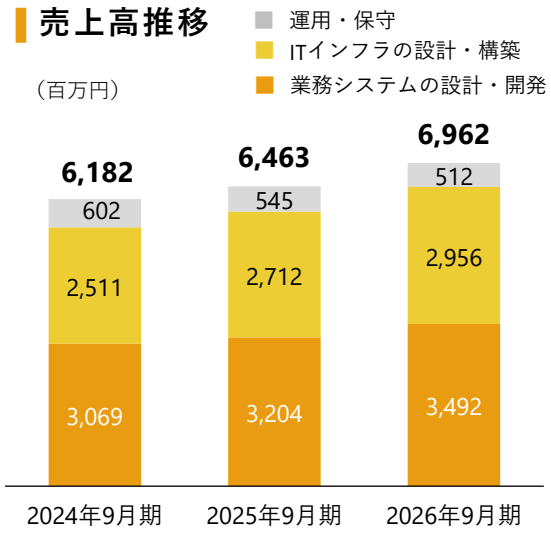


Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

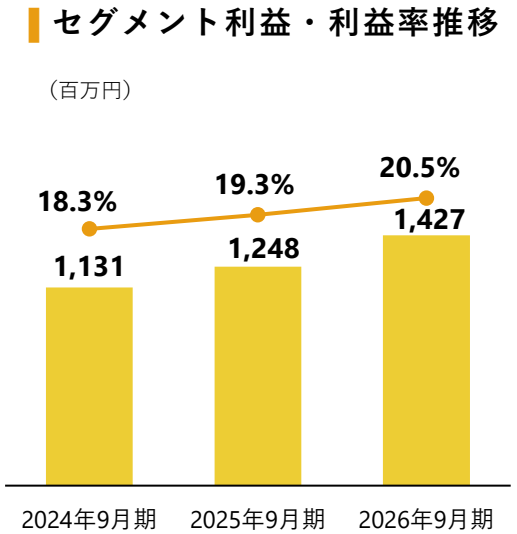
前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の振り返り（事業セグメント別実績）

システムインテグレーション事業

売上高推移



セグメント利益・利益率推移



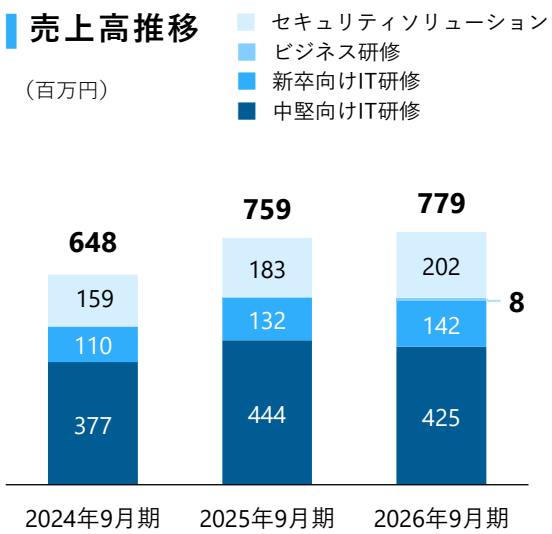
元請け案件比率推移

2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
23.8%	26.6%	29.8%

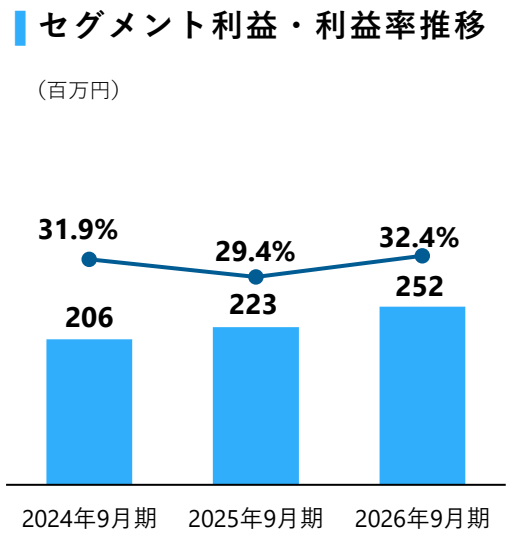
- システムインテグレーション事業の元請け比率は、目標の30%には僅差で未達となったものの前中計期間で6pt増となる29.8%まで拡大し、目標水準へ迫る着地

教育サービス・セキュリティソリューション事業

売上高推移



セグメント利益・利益率推移



自社サービスの開発・提供開始

教育	セキュリティ
ピジェトレ	ためログ Cornelius-EDR by Heimdal

- 生成AIの急速な浸透に伴い、AI関連研修のラインアップ拡充と情報セキュリティ研修のリリースを実現
- IT人材育成とセキュリティ需要の高まりを背景に受注は堅調に推移

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の振り返り（投資実績）

拠点拡張・社内インフラ整備投資

本社移転
（2025年4月）

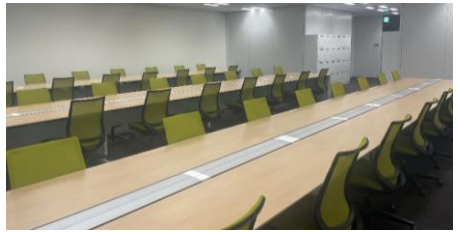



東京事業所の改修
（2026年5月）





大阪事業所の増床
（2026年3月）



福岡事業所の開設
（2024年1月）



社内IT投資・基幹システムリプレイス



将来の事業規模拡大を見据え、全国の拠点「拠点インフラ」と、
業務効率化・ガバナンスを支える基幹システム「ITインフラ」の両面で成長基盤の整備を完了

人的資本投資

新卒入社者の初任給与引き上げ・社員の待遇向上



社内研修の拡充（年次研修・PM研修）



ウェルネス休暇制度の導入



持続的成長に向けた人的資本の
「獲得・育成・定着」を支える投資を実施

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

前中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）の振り返り（投資実績）

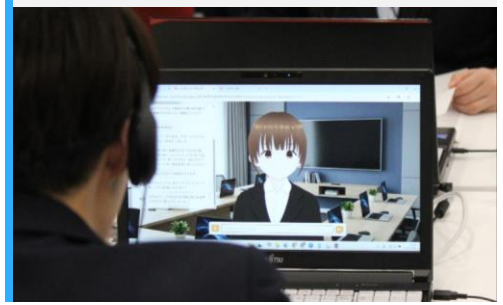
自社製品・自社サービスの開発投資

教育サービス

2026年4月 リリース

AI活用の
教育プラットフォーム

ピジェトル
講師とAIが、よりそう研修。



教育サービスの収益性向上を牽引するコアプロダクトの仕込みを完了

セキュリティ

2024年8月 リリース

Syslog Watcher
アプライアンス

ためログ

2025年12月リリース

サイバーセキュリティ
統合プラットフォーム

Cornelius-EDR by Heimdal

**中堅企業向けの
ストック型収益基盤を確立**

2026年 機能拡張実施

特権ID管理
ソリューション

WEEDS Trace

- 機能追加・拡張実施
- 金融機関向けシステムへ実装



**アップセルに向けた
製品基盤の整備を実施**

M&A投資

2026年1月 株式取得

MIC

- 山口（山陽エリア）での事業拠点獲得
- 地域市場でのシェア拡大を推進

2026年5月 株式取得

個人と組織の輝きを追究する
株式会社クエストコンサルティング

- 多様な育成要望にも応える、包括的な人材育成プラットフォームの構築を実現

**前中期経営計画期間で2件のM&Aを実施。
インオーガニック成長に向けた
積極的なM&Aを展開**

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

2

新中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）

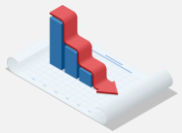
外部環境に対する認識

「AI急伸」に伴うSIビジネスのパラダイムシフトが進行

AIの技術革新による
IT開発・運用プロセスの根本的変革



従来の「人月・工数依存型」モデル脱却の
遅れによる、中長期的な競争力低下の懸念



AI活用による「高付加価値ソリューション」への
需要シフト



汎用 IT スキルから「業務知見 × AI活用力」を
有する人材への転換



持続的成長に向けた「AIネイティブ化」への集中投資の実行が不可欠であると判断

AIの急速な進化に伴う業界構造の変化を「絶好の成長機会」と捉え、
従来の事業モデルの再構築を図りながら「AIネイティブな収益体質」へと進化を遂げるための先行投資を断行

1. 前中期経営計画で築いた
強固な基盤を最大限に活用できる
最良のタイミングであると判断

2. 当社の強みである顧客課題に寄り添う
システム構築力にAI駆動開発を融合し、
提供価値の最大化へ

3. 「高付加価値ソリューション」の
提供により、顧客の本質的な
課題解決に伴走していく

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

新中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）の位置づけ：4年間のフェーズ区分

- AI時代における生存と持続的成長を見据え、新中計を4カ年で策定し「ビジネスモデル変革及び構造変革のための期間」と位置付け。「Vision2028」の目標時期を2030年9月期へ再設定し、AI活用による高付加価値・高収益体質への転換を最優先で推進

「Vision2028」目標達成時期の変更背景

構造改革と集中投資による「成長モデルの抜本的転換」

単に売上規模を追うのではなく、AI活用により「成長の質（利益率・スケーラビリティ）」を向上させたうえで
高利益率な「売上100億円企業」を目指すシナリオへと再構築

新中期経営計画（4カ年）のフェーズ区分

Phase 1　2027年9月期～2028年9月期

～ AI集中投資・基盤構築期間 ～

- AI人材の育成



- ツール・ガイドライン整備



- AI駆動開発のプロセス化



- 自社プロダクトへのAI機能組み込み



Phase 2　2029年9月期～2030年9月期

～ 収益・規模拡大期間 ～

- AI活用による原価率低減（高粗利率化）



- 高付加価値ソリューションの展開



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

経営理念

コンピュータ関連業務を通じて
無限の夢を創造する、無限の夢を実現する

ビジネスミッション

「人×テクノロジー×教育」の力で、
日本の「フクザツ」を「カンタン」に。

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）

スローガン

AI Driven Transformation 2030

～「人とAIの融合」で無限の夢を現実に。高収益・高付加価値企業への飛躍～

基本方針（3つの柱）

1 自社変革

AIによるビジネスモデル・原価構造の抜本的改革

開発プロセスの標準化とナレッジDB化を推進し、個の生産性と事業のスケーラビリティを最大化
売上100億円・営業利益率10%を支える高収益体質を構築する

2 顧客価値

「AI×強み」による高付加価値ソリューションの共創

システム開発、教育サービス、セキュリティの各領域にAIを実装
顧客の業務変革からAIガバナンスまでを一気通貫で伴走支援する

3 人的資本

AI時代を牽引する自走型人材基盤と組織の確立

エンジニアのAIリスキリングと早期戦力化を推進し、高いエンゲージメントと採用競争力を実現
人とAIが融合し、無限の夢を描ける組織基盤を固める

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

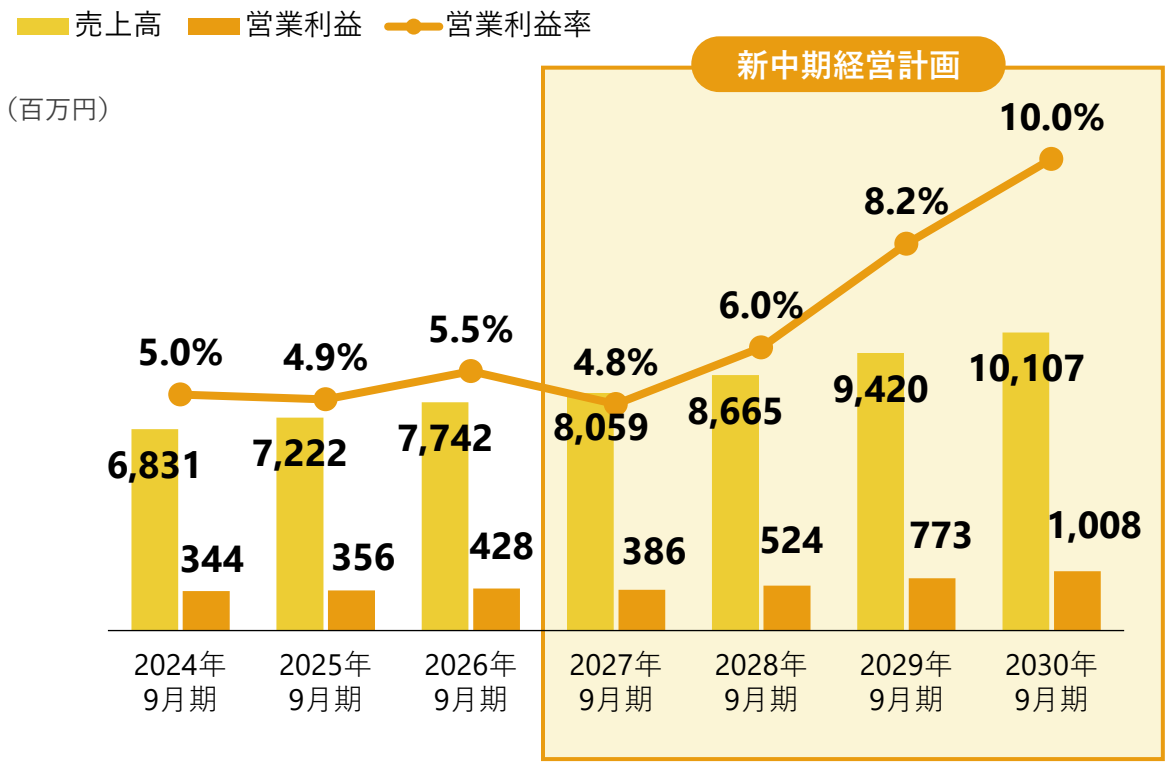
経営数値目標：新中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）

- AIをはじめとする先端技術の急速な台頭に伴い、SI市場における工数・人月依存型からの脱却が急務となる中、2027年9月期～2028年9月期においてはAI領域への集中投資を最優先と位置づけ。中長期の競争優位性確立に向けた抜本的なビジネスモデル変革へ舵を切り、計画最終年度である2030年9月期に売上高100億円規模・営業利益率10%の達成を目指す

新中期経営計画（2027年9月期～2030年9月期）

（百万円）	2027年9月期	2028年9月期	2029年9月期	2030年9月期
売上高	8,059	8,665	9,420	10,107
営業利益	386	524	773	1,008
営業利益率	4.8%	6.0%	8.2%	10.0%

前計画からの経営推移



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　AI人材の育成と開発・業務プロセスの標準化を通じた、高付加価値な経営基盤の構築

AI推進戦略

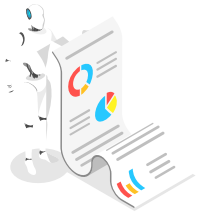
内部変革

1 AIエンジニア育成推進と AI駆動型開発プロセスの標準化

- 【人材基盤】高度AIエンジニアの育成・リスキリング
  - コーディング中心のタスクから、アーキテクチャ設計・上流工程を担う「AI活用型エンジニア」へのシフトを通じ、人材の「高付加価値化」を実現



- 【ツール・手法】AI駆動型開発プロセスの標準化
  - 開発工数の削減により「生産性」と「売上総利益率」を向上させるとともに、属人化の排除による「開発品質の平準化」を実現



2 バックオフィス「AI協働モデル」の構築 高付加価値組織への進化

- 定型業務のAI補完とオペレーション精度向上
  - 定型・データ処理業務にAIを導入し、手作業によるミス削減と業務負荷の軽減を実現



- スケールに対応できる強固な経営基盤の構築
  - 事業規模が拡大しても、業務過多に陥らない持続可能なオペレーション構造を確立
  - 業務品質の向上と販管費率コントロールを両立し、営業利益率10%の達成を足元から支える



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　共創型アプローチと対象領域の拡張による、顧客企業のAI活用及びDX推進支援の強化

AI推進戦略

外部変革

1 AI駆動開発による新製品・新サービスの創出

- **顧客課題深掘りと共創型プロダクト開発**
  - 顧客課題の特定から深く伴走し、変化の激しい市場環境に即応する「アジャイル型伴走体制」を構築



- **自社で培ったAI活用モデルの事業展開アプローチ**
  - 自社で検証・確立したAI技術や運用ノウハウを、顧客のDX・AI推進を支援する「高付加価値ソリューション」へ展開



2 開発領域にとどまらないAI活用展開

- **AI活用の領域拡張**
  - システム開発にとどまらず、インフラ構築・運用やセキュリティ対策領域へもAI活用を展開し、提供価値を最大化



3 AIを活用したDX推進

- **「AI×DXパートナー」へ進化**
  - 顧客企業のデータ活用から業務プロセスのAI化までを包括的に支援する「AIコンサルティング・構築モデル」へシフト



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針 AI人材の育成・上流シフトを加速し、高いエンゲージメントを生む組織基盤を構築

人材戦略

1 AI時代の「コア人材」の段階的育成と確保

- **全社員のAIリテラシー底上**
  - AI駆動開発のプロセス化と、ツール・ガイドライン整備
  - AI駆動開発研修のカリキュラム化によるAIエンジニアの育成
- **AI研修修了人材の適切な配置と研修効果のフォローアップ**
- **AI人材の外部採用**



2 事業戦略別の採用と育成

SI・セキュリティ

- AI研修修了人材を元請け案件推進のPM・コンサル層へ優先配置
- コンサル・PM人材の外部採用
- 上流工程人材比率の引き上げ

教育

- AI研修修了人材の中からAI研修講師人材の確保・育成



3 組織体質強化による定着率向上と生産性向上

- **変化に対応できる人材の育成**
  - 階層別研修の継続実施（新卒、1年次・3年次、中堅層研修 等）
  - PM育成研修の継続実施
  - マネジメント層（管理職）の育成強化
- **働き方の多様性支援**
  - メンタリング制度の充実
  - 社内公募・社内副業制度による自律的キャリア形成支援



4 社員の満足度向上

- くるみん認定※1取得
- 評価制度再構築
- 社員の「声」を聴く仕組みづくり
- 産休・育休を取得しやすい環境整備

5 健康マネジメント

- 健康経営優良法人の認定取得
- ワークライフバランスの実現
- 健康診断受診率100％※2の継続

※1：「くるみん認定」は、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立支援などの一定の基準を満たした企業を厚生労働大臣が認定する「子育てサポート企業」制度
※2：受診期間中の休職者を除く

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　「AI×品質保証」による伴走型開発と基盤提供を推進し、高収益なプライムSI体制を確立

事業戦略

1 「AI活用×品質保証」を強みとした伴走型エンジニアリング



市場背景

生成AIの普及で社内開発が容易化する一方、設計やセキュリティが不十分なシステムの乱立リスクが顕在化

当社は、設計・セキュリティ品質を担保する伴走型開発で顧客DXの高付加価値化を推進

- **初期からの伴走支援**
  - 開発構想・設計段階から伴走参入。プロの知見で堅牢なアーキテクチャ設計と高品質なAI活用を両立
- **品質保証**
  - AIを活用した高速開発を推進しつつも、保守性や拡張性を考慮した正しく堅牢な設計を顧客と共に創り上げる安全かつ高品質な開発の伴走パートナーとしてのポジションを確立

2 元請け取引の拡大（高粗利プライムSIへのシフト）



- 顧客企業のAI活用を上流から支援。長期的な伴走パートナーとしての地位を確立し、元請け比率40%以上を目指す

3 AI実装を加速させるプラットフォーム基盤の提供



- **最適なAIインフラ構築**
  - 顧客のセキュリティ要件に応じ、クラウドからローカルまで柔軟なAI実行環境を迅速に構築
- **ストック収益基盤の創出**
  - AIモデル更新や運用保守の継続支援と利用ライセンス拡大を通じ、安定したストック収益を創出

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　AI時代の人材育成・組織定着を、データと人的伴走で支援する総合パートナーへ進化

事業戦略

1 AI駆動開発を中核とした「AI関連研修」の拡充



- プロンプト設計やAIペアプロ、コード検証を通じ、顧客企業の実務を牽引する高度IT人材育成を支援

2 AI時代の安全を支える「セキュリティ研修」の展開



- 生成AI利用に伴う情報漏洩、セキュリティ脅威に対応したAIガバナンスを考慮したセキュリティ研修の展開

3 企業のAI定着化ニーズに応える「AI基礎研修」の強化



- AIツール導入後に多くの企業が直面している「業務に組み込めない」という定着化課題を解決

4 「ピジェトレ」の学習データに基づく次世代タレントマネジメントの実現

- **技術育成・データ可視化**
  - AI教育プラットフォーム「ピジェトレ」を通じたIT研修により、学習進捗・理解度・行動ログのリアルタイム可視化を実現
- **AI時代の組織開発支援強化（ビジネス研修の拡充）**
  - 「ピジェトレ」の可視化データを人的資本・組織課題の根拠として抽出。データを起点にビジネス研修の提供を拡大

ビジネス研修

- 目標設定（MBO/OKR）・考課者（管理職）研修
- 現場マネージャー向け指導・フィードバック力向上研修
- キャリアデザイン・理念浸透ワークショップ
- 人事・評価制度構築コンサルティング



教育サービス顧客の「AI×DX課題」を察知し、システムインテグレーション事業とのシナジー創出

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　レバレッジ開発による既存事業領域の拡大と、AI利用統制セキュリティの確立による高成長の実現

事業戦略

1 既存製品・サービスの機能拡充及び拡販

- **WEEDS Trace**
  - FISC第13版及び金融庁・日銀要請（2026年5月）への対応機能拡充
  - UI刷新とゲートウェイ型対応で、OS・クラウド・NW・DBへ管理対象を拡大
  - 規制対応需要を捉えた既存顧客の深耕とストック収益拡大
  - AI駆動開発により、同水準の投資のまま少数精鋭で開発カバレッジを大幅拡大
- **Cornelius-EDR by Heimdal**
  - 代理店販路活用による顧客基盤の拡大

2 新領域「AIガバナンス・利用統制セキュリティ」の展開

- **AI時代の課題解決**
  - AIエージェント等「人間以外のID」への特権アクセス管理・操作証跡・監査対応の製品化
- **AIガバナンスの可視化・統制**
  - 企業のAI導入拡大に伴うAIガバナンス（可視化・統制・証跡）需要への対応



3 中堅・中小市場への展開

- **簡易パッケージの展開**
  - リソースが限られる中堅・中小企業向けに、導入の手間なくセキュリティ基準・規制対応を満たす簡易パッケージを提供
- **ベスト・オブ・ブリードの最適提案**
  - 自社製品・サービスと他社優良ソリューションを融合し、顧客要件を満たす包括的なポートフォリオを構築



システムインテグレーション事業との導入・運用支援連携、
及び教育サービスと連携したセキュリティ人材の育成により、シナジーを創出

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

基本方針　売上100億円企業への進化を見据え、AI集中投資で開発生産性と収益構造を抜本強化

投資戦略

1 AI投資

- AIエンジニア育成投資
- AI開発ツール導入　等

2027年9月期投資額：1億円～



開発効率の最大化と
高収益体質化

2 AI活用の製品・サービス投資

- 「ピジェトレ」機能拡充
  - スキルアップ可視化アルゴリズム開発
  - 現行機能のモジュール化
  - 新規アプリ開発

2027年9月期投資額：0.5億円～

- 「WEEDS Trace」機能拡充
- 新製品･新サービス開発 等

高収益・
ストック型収益の拡大

3 人的投資

- 福利厚生の充実
- 社員の待遇向上
- リスキリング・育成投資



人材の早期戦力化・
高付加価値化による
人当たり収益の最大化

4 M&A投資

- M&Aの実施
  - インオーガニック成長投資



売上規模100億円の
早期実現

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

株主還元方針（配当金・株主優待）

- 将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保する一方で、長期的で安定した配当を継続していくことが当社配当方針の基本。2027年9月期より、目標とする連結配当性向をこれまでの30%～35%から「35%～40%」へ見直し
- 株主の皆様による日頃からのご支援に感謝するとともに、当社の認知度向上及び個人投資家の皆様の取引活性化を図る目的で2024年9月期より株主優待制度を導入

配当金推移

◆ 2027年9月期より配当性向目標を35%～40%へ引き上げ

	実績			予定
	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期
年間1株当たりの配当金	25円00銭	27円00銭	28円00銭	31円00銭
連結配当性向	30.1%	30.6%	31.1%	35.2%
株主資本配当率（DOE）	5.1%	4.9%	4.5%	4.6%

株主優待制度

対象となる株主様

9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、
当社株式 100株（1単元）以上を保有する株主様

株主優待の内容

保有株式数 100株（1単元）以上
優待内容 QUOカード1,000円分

贈呈時期

12月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に同封予定



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）及び環境への取り組み

基本方針

事業活動を通じてステークホルダー（お客様、ビジネスパートナー、地域社会、株主・投資家、社員）の信頼・期待に応え、当社グループの企業価値を高めるとともに、持続可能で豊かな社会の実現に向けて貢献していく

1 安心・安全で便利な社会の実現に貢献



- デジタル技術を通じて、人々が安心・安全に生きていくための社会課題解決に貢献
- 気候変動リスク対応として、環境負荷低減を設計思想としたシステム開発の継続
- 情報セキュリティ・個人情報保護の取り組み継続

2 イノベーション・共創を通じ豊かな社会の実現に貢献



- デジタル技術を通じて、社会課題を抱える地域・自治体の活性化へ貢献
- 顧客のニーズに対応する高品質なシステム・製品・サービスの提供
- DX推進のサポート

3 多様な人人材がいきいきと活躍できる社会の実現に貢献



- 先進技術に対応できる人材の育成と多様性の尊重
- 従業員の健康増進
- ワークスタイル変革の推進

4 健全な企業経営の維持・強化



- 透明性の高いガバナンス体制の堅持
- リスクマネジメントの強化

GHG排出量算定開始

Scope1＋Scope2

2026年9月期より算定開始

サステナブルな社会の実現に向け、ITサービス企業としての社会的責任を果たすべく、オフィス活動等に伴うGHG排出量（Scope1・2）の算定に着手。自社排出実態の可視化を進め、今後は中長期的な排出削減目標の設定や、省エネルギー施策の導入など実効性の高い環境負荷低減の取り組みを段階的に推進

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

3 Appendix

システムインテグレーション事業と教育サービス・セキュリティソリューション事業を展開する独立系システムインテグレーター



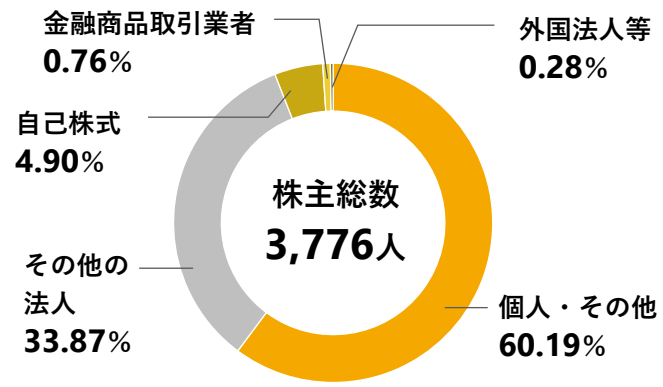
代表取締役社長
富田　健太郎



代表取締役副社長
関亦　在明

会社名	株式会社ディ・アイ・システム
設立	1997年11月5日
所在地	東京都千代田区丸の内2-1-1明治安田生命ビル15F
事業内容	業務用アプリケーションの設計開発業務、インフラシステムの設計構築業務 運用・保守業務、セキュリティ製品開発・販売業務、IT教育・ビジネススキル研修業務
セグメント	システムインテグレーション事業 教育サービス・セキュリティソリューション事業
連結従業員数	747名（2026年10月時点）※契約社員含む
グループ拠点	東京、大阪、名古屋、横浜、静岡、福岡、山口
資本金	29,2440,000円
連結子会社	アスリーブレインズ株式会社 株式会社ステップコム ウイーズ・システムズ株式会社 株式会社エム・アイ・シー 株式会社クエストコンサルティング (アスリーブレインズ株式会社100%子会社)
上場日	2018年10月19日

所有者別株式分布（2026年9月30日時点）



Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

顧客のニーズに合わせて、システム設計・開発からITインフラ設計・構築、IT・ビジネス研修、セキュリティ対策まで、
幅広いITソリューションを提供

D.I.System

システムインテグレーション事業

業務システムの設計・開発	ITインフラの設計・構築	運用・保守
・業務支援システム ・ワークフローシステム ・eラーニングシステム ・EC（ショッピング）サイト　等	・社内ネットワーク ・クラウド基盤 ・無線LAN ・セキュリティ基盤　等	・システムの運用監視 ・データ入力・解析 ・保守開発 ・機器メンテナンス　等

教育サービス・セキュリティソリューション事業

教育サービス

新卒向けIT研修/中堅向けIT研修/ビジネス研修

- IT基礎研修／Java基礎研修／ITインフラ基礎研修
- クラウド研修（AWS／Azure）
- AI駆動開発研修
- Microsoft 365 Copilot体験研修／応用研修
- 情報セキュリティ研修
- ビジネス研修（人材アセスメント・コンサル）　等

セキュリティソリューション

セキュリティ製品の開発・販売・運用サポート

- ランサムウェア対策・EDR導入
- 端末挙動監視・脅威検知対応
- 特権ID・アクセス管理
- 操作ログ取得・不正制御
- 統合ログ蓄積・監査対応
- MSP・セキュリティ運用監視　等

顧客のニーズに
合わせた幅広い
ITソリューションの提供

顧客

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

経営理念

We have dreams.

私達は自立した個人を育て、明確なやりたい事（夢）を持てる集団であり、その明確なやりたい事（夢）が実現できる企業を目指します。更に、夢を持つ多くの社員達とコンピュータテクノロジーを通じて、社会に貢献できる企業でありたいと願っています。

社名に込められた想い

Dreams Infinity System

“無限の夢を創造する”

※「Dreams Infinity」の頭文字を取って、
D.I.Systemという社名にいたしました。



無限の夢を語り、
現実のものとしていく、
それを提供するのが
私たちのビジネスです

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

1997年設立。創業当時から知名度の高い企業と取引関係があり、システム開発、ネットワークインフラ構築等の常駐案件を中心に業績を拡大

1997年11月
- ソフトウエア開発を目的として、有限会社ディ・アイ・システムを設立

1999年7月
- 有限会社から株式会社に組織変更

2002年10月
- 大阪支店開設

2006年1月
- 技術研究開発を目的にR&Dセンター開設

2013年5月
- アスリーブレインズ株式会社の株式取得

2013年10月
- 名古屋支店を開設

2014年1月
- 東日本エリアのオフィスを統合本社を中野区中野に移転

2015年2月
- 大阪支店を増床・移転「大阪事業所」に変更

2018年10月
- 東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に株式上場

2019年10月
- 横浜サテライトオフィス開設

2021年10月
- 株式会社ステップコムの株式取得
- 静岡サテライトオフィス開設

2022年1月
- 福岡サテライトオフィス開設

2022年4月
- 東京証券取引所スタンダード市場へ移行

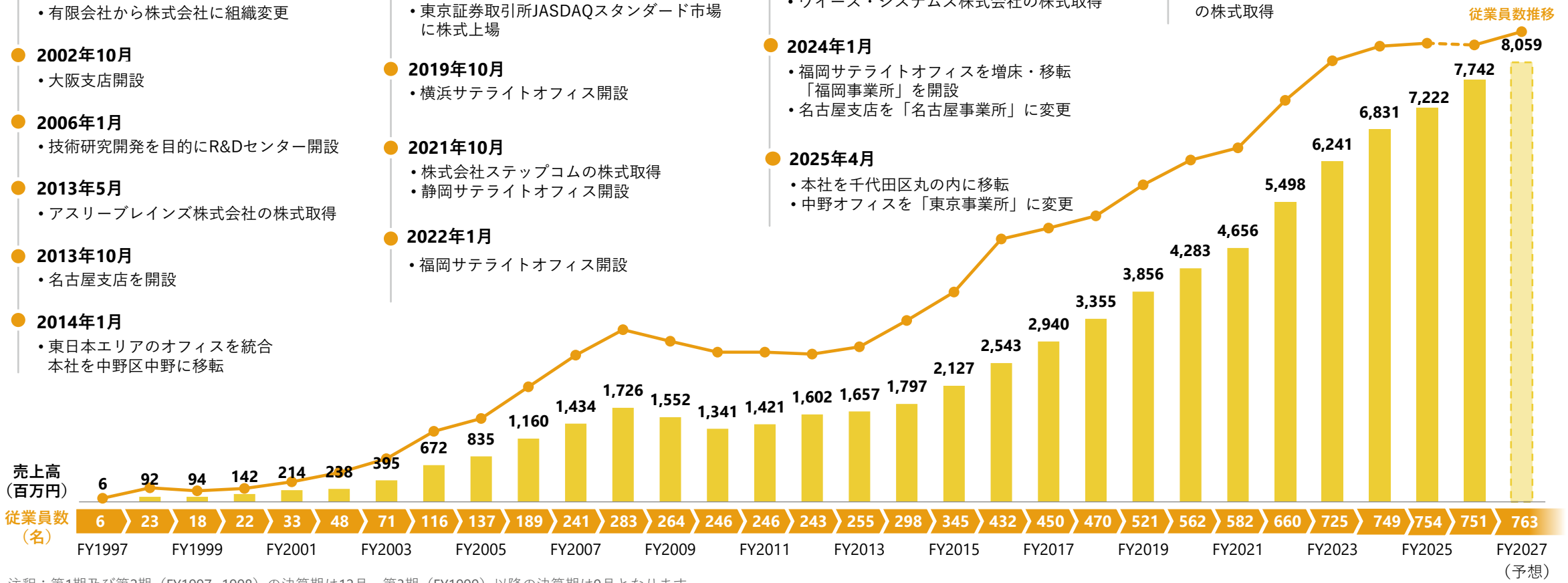
2022年7月
- ウイーズ・システムズ株式会社の株式取得

2024年1月
- 福岡サテライトオフィスを増床・移転「福岡事業所」を開設
- 名古屋支店を「名古屋事業所」に変更

2025年4月
- 本社を千代田区丸の内に移転
- 中野オフィスを「東京事業所」に変更

2026年1月
- 株式会社エム・アイ・シーの株式取得

2026年5月
- 株式会社クエストコンサルティングの株式取得



注釈：第1期及び第2期（FY1997~1998）の決算期は12月、第3期（FY1999）以降の決算期は9月となります。

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

グループ会社・拠点情報

- 2026年1月エム・アイ・シーを子会社化。2026年5月には組織人事コンサルに強みを持つクエストコンサルティングをグループ化。ディ・アイ・システムはグループ各社の連携を密に、更なるビジネス拡大を推進していく

ディ・アイ・システムグループ・拠点情報



本社
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-1-1
明治安田生命ビル 15F

東京事業所
〒164-0001
東京都中野区中野4-10-1　中野セントラルパークイースト2F

アスリーブレインズ株式会社
A3 BRAINS
子会社化：2013年5月
議決権所有割合：100%

株式会社クエストコンサルティング
（アスリーブレインズ株式会社100%子会社）
子会社化：2026年5月
議決権所有割合：100%

ウイーズ・システムズ株式会社
WEEDS SYSTEMS
子会社化：2022年7月
議決権所有割合：100%

静岡サテライトオフィス
〒420-0858
静岡県静岡市葵区伝馬町9-11 原科ビル4A

株式会社ステップコム
Stepcom.
stepcommunications Co.,Ltd.
子会社化：2021年10月
議決権所有割合：100%

福岡事業所
〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前4-11-19
博多駅前パークサイドビル5F

山口サテライトオフィス
〒744-0012
山口県下松市北斗町1-7 MICビル

株式会社エム・アイ・シー
MIC
子会社化：2026年1月
議決権所有割合：100%

大阪事業所
〒530-0005
大阪府大阪市北区中之島3-6-32
ダイビル本館17F

名古屋事業所
〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-13-30
名古屋伏見ビル4F

横浜サテライトオフィス
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-2
横浜ブルーアベニュー12F

Copyright © D.I.SYSTEM CO.,Ltd. All Rights Reserved.

D.I.System

https://di-system-ir.co.jp/

上記URLから、当社ホームページのIRサイトをご覧いただけます。

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通し等が含まれております。これらの将来の計画や予想数値等は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想等とは異なる場合があり、この資料は その実現を確約したり、保証するものではございません。なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。